



東京多摩スマイルワイズメンズクラブ

chartered on 2016.7.17 (2023.7.1 東京多摩みなみクラブと東京町田スマイリングクラブ合併)

2025 年
9 月号
(第 27 号)

今月のことば

「世は去り、世はきたる。し
かし地は永遠に変らない。」
旧約聖書 伝道の書 1 章 4 節
(尾張日出夫選)

2025～2026 年度 主題

クラブ会長 綿引康司「原点に回帰する」
東新部部長 深尾香子(東京多摩スマイル)「『考えること』を止めないで進もう！」
東日本区理事 山下 真(十勝)「ワイズのらしさ再発見」
アジア太平洋地域会長 田上 正(熊本むさし)「信念と愛を持って行動しよう！」
国際会長 エドワード・オン(シンガポール)「Faith, Love, Action(信念、愛、行動)」
《クラブ役員》会長 綿引康司 直前会長 伊藤幾夫
書記 伊藤幾夫 会計 伊藤江理夫 担当主事 小野 実

(当クラブは多摩市社会福祉協議会、町田市社会福祉協議会ボランティアセンターの登録団体です)

今月の強調テーマ: EMC (Extension and Membership Conservation)

9 月例会プログラム

日時: 9 月 2 日(火) 19:00～20:30
会場: 玉川学園コミュニティセンター
(小田急線「玉川学園前駅」徒歩 3 分)
会費: なし(夕食はありません)
*今回は、オンラインはありません。

《プログラム》

司会 伊藤幾夫 受付: 深尾香子

- *開会点鐘 綿引康司会長
- *ワイズソング
- *今月のことば 尾張日出夫
- *ゲスト/ビジター紹介 会長
- *会長挨拶
- *今月のスピーチ 「『障害』とは何でしょう？」
桜美林大学健康福祉学群准教授 谷内孝行氏
- *チーム報告
- *YMCA ニュース、各種アピール等
- *スマイル
- *ハッピーバースデー
- *閉会点鐘 会長

9 月の Happy Birthday

今月は該当者がありません

巻頭言「在京 12 クラブ会に期待」

6 月からスタートしました「在京 12 クラブ会(仮称)」が 8 月で 3 回目を終了しました。会を重ねるごとに参加者が増え、8 月は 10 クラブから 20 名の方が参加しました。この会の主旨は「在京 12 クラブが連携を取り合って東京 YMCA との協働関係を強めていきましょう。また、在京 12 クラブ相互の交流も深めていきましょう。」ということでスタートしました。会のリード役は「在京会長会」幹事の 2 名(小原史奈子さん: 東京たんぽぽクラブ、伊藤幾夫: 東京多摩スマイル)が担っていますが、この会の主旨からみて、会長の連絡会ということではなく、在京 12 クラブのどなたでも参加できるオープンな会を目指しています。在京 12 クラブといっても、馴染みのない方がいらっしゃると思います。現在、在京クラブは 3 つの部(関東東部、東新部、あずさ部)に 12 クラブが存在しています。部が分かれているために、12 クラブが集まる機会は、年に 2 回しかありませんでした。1 回は在京ワイズ合同新年会、その午前中に行われる「在京会長会」、もうひとつは、5 月の東京 YMCA 会員大会当日の午前中に行われる「在京会長会」です。どちらも、話し合いというよりも各クラブの報告会というものです。在京 12 クラブ会には約 150 名の会員がいます。この力を結集して、東京 YMCA を支援したら、どれだけ大きなパワーとなることでしょう。

(伊藤幾夫記)



8 月例会	在籍15名 (内広義会員4名) 合同例会出席 29名	出席内訳	メンバー 9名 メーキャップ 3名 出席率 100% メネット 0名 ゲスト・ビジター 名	BF切手 (今年度累計 0g)	0g (今年度累計 0g)	オークション (今年度累計 0円)	0円 (今年度累計 0円)
				ぼんぼこファンド (今年度の累計 0円)	0円 (今年度の累計 0円)	スマイル (今年度累計 7,150円)	0円 (今年度累計 7,150円)

8 月合同例会報告

当クラブの8月例会は、8月9日(土)16:30~18:30、JR 八王子駅に隣接したビル内にある居酒屋「北海道」で開催しました。今回は例年通り、飲食を楽しみながら懇親を深める納涼例会とし、また日頃から親交の深い東京八王子ワイズメンズクラブとの合同例会としたことにより、とても楽しい時間を過ごすことができました。

参加者は全体で29名、当クラブからはクラブメンバー9名が参加したほか、慈有塾の宮道さん、学生さん、ほくの家荒井代表の3名を招待しました。また、東京クラブ渡邊実帆会長、東京町田コスモスクラブ山口和彦会長も参加されました。

会の冒頭、東京八王子クラブの会長引継ぎ式を行い、続いて「プランター野菜講座」の収益金より慈有塾、ほくの家2団体に対し寄付金を贈呈しました。



今回、東京八王子クラブと合同例会を企画した目的は、まず、私たちのイベントに同クラブメンバーが積極的にお手伝いくださっているなど友好関係にあり、その関係を更に深めたかったこと、そして第二に、やはり同クラブの方々に多数ご参加頂いている「プランター野菜講座」の収益金が地域のボランティア団体支援に使われていることを知って頂く良い機会と考えたからです。

今回参加された皆様からは「楽しかった」とのご感想を伺いました。これをよい契機にして、近隣クラブとの合同例会に積極的に取り組み、更なる交流を図っていきたくと考えています。

《当クラブの出席者》石田、小野、田中、為我井、寺沢、深尾、藤田、峰、綿引 (綿引記)

8 月第2例会(運営会議)報告

8月11日(月、祝)19:00から20:30、第2例会(運営会議)がZoomにて開催されました。会計報告、8月合同例会報告、落合夏祭り報告、アジア太平洋地域大会報告、ブリテン9月号の割付などが確認されました。とくに、8月合同例会の場で、慈有塾、ほくの家各に2万円を贈呈したこと、落合夏祭りでは、売上高が63,990円との報告がありました。

また、協議事項として、以下のことが決まりました。

- ・10月例会のスピーカー第1候補として、山口和彦さん(脳科学者、東京町田コスモス)に打診(担当:綿引)、第2候補として、当クラブの田中博之さん(野鳥の話)

- ・11月例会スピーカーは10月の結果によって検討
- ・12月例会は、12/2(火)クリスマス例会として、会場を検討する
- ・1月例会は、1/10(土)在京ワイズ合同新年会に合流する
- ・2月か3月に東京町田コスモスとの合同例会を模索する
- ・9/27(土)東京YMCAチャリティーランへの協力については、個人としてウォーキング登録を奨励
＜出席者＞石田、伊藤(幾)、小野、尾張、田中、為我井、深尾、綿引 (伊藤幾記)

東京クラブ納涼クルージングに参加

8月25日(月)午後、東京クラブの8月サマーウェルネス例会「サンセットクルージング例会」に参加しました。当クラブから、石田さん、深尾さん、峰さん、伊藤の4名、慈有塾からも4名(講師1名、学生3名)が参加しました。総勢47名の特別会でした。ゆりかもめ「日の出」駅に15:30集合、16:20「シンフォニー・モデルナ号」に乗船、ワイズで一部屋を貸し切り、サンセットを眺めながら、食事をいただき、歓談しながら、あっという間に18:30となり、豪華な納涼例会がお開きとなりました。東京YMCAの池田麻梨子主事が、慈有塾のみなさんのアテンドをしてくださいました。(伊藤幾記)



(クルージング:写真左上は東京YMCA池田主事)

かながわ部納涼例会に参加して

8月21日(木)、ロイヤルホール横浜にて開催された、「かながわ部(旧湘南・沖縄部)納涼例会」に参加してきました。当クラブからは、為我井さんと伊藤が参加。かながわ部のワイズメンズクラブは横浜YMCAとの連携が良好で、この例会にも、佐竹博横浜YMCA総主事を始め多くの主事も参加していました。総勢47名の参加者で賑わいました。

(伊藤幾記)



(かながわ部納涼例会 集合写真)

9 月例会スピーチ

「障害」とは何でしょうか？

スピーチ：谷内孝行 氏

桜美林大学
健康福祉学群
准教授（障害学）



《プロフィール》

1972 年和歌山市で視覚障害者(弱視)として生まれ、日本福祉大学卒業、東洋大学大学院社会学研究科博士前期課程修了。大学院時代より東京都北区で当事者活動を開始し、NPO 法人ピアネット北(基幹相談支援センター、重度身体障害者グループホーム、療育相談事業、絵画工房等)を設立、設立から現在まで事務局長。また、「障害の社会モデル」を普及・啓発することを目的とする NPO 法人障害平等研修フォーラム理事、自身がファシリテーターとなり全国各地で障害平等研修を実施。社会福祉士、介護福祉士、公認心理師、鍼灸マッサージ師、消費生活相談員(国家資格)等。

【著 書】『共生社会のための障害者福祉』(編著)クリエイツかもがわ、『障害者に対する支援と障害者自立支援制度』(共著)久美出版、『障害をもつ人たちの権利』(共著)一橋出版ほか

《スピーチ概要》

改めて「障害」とは何かについて、イラストや動画を使用しながら考えます。「障害者」を排除しないインクルーシブな地域づくりの在り方を参加者に発見していただく研修です。

在京 12 クラブ会の今後に期待

1 面の「巻頭言」にも書きましたが、「在京 12 クラブ会(仮称)」は始まったばかりですが、みなさんが期待を寄せています。しかし、この会の主旨が在京 12 クラブのメンバーの方々に理解していただくには、まだまだ時間がかかると思います。このように、東京 YMCA を支援するワイズメンズクラブがひとつになって、毎月話し合いを持つことは初めてのことだと思います。過去を振り返ってみますと、20 年前の 2005 年には、在京クラブは 20 クラブありました。関東東部は 4 クラブ 88 名、東新部は 8 クラブ 139 名、あずさ部は 8 クラブ 133 名、合計 360 名でした。現在は、関東東部 3 クラブ 54 名、東新部 4 クラブ 51 名、あずさ部 5 クラブ 47 名、合計 152 名です。この 152 名が一つとなって、東京 YMCA を支えることになったら、すごいパワーが生まれるだろうと期待が膨らみます。(伊藤幾記)

熊本アジア太平洋地域大会開催

8 月 1 日(金)～3 日(日)に熊本でワイズメンズクラブ国際協会(YMI)第 31 回アジア太平洋地域大会が開催されました。大会主会場は、熊本城ホールで、2 回の晩餐会は、ホテル日航熊本で行われました。アジア太平洋地域大会は、隔年に開催されますが、前は 2023 年に香港で開催され、日本での開催は、2015 年の京都大会、2019 年の仙台大会以来でした。参加登録者数は、並行して開催されたアジア太平洋地域ユースコンボケーション(AYC)を含め、18 か国/地域から 583 名で、東日本区からは 97 名でした。また、大会に先立って 7 月 26 日からは YMI の国際議会が熊本 YMCA を会場として開催され、大会に、より国際色の彩を添えました。

大会初日は、エドワード・オン国際会長(シンガポール)、田上 正アジア太平洋地域会長(熊本むさし)の就任式、基調講演、ショートビデオコンテスト表彰式、IBC 締結式等が行われ、晩餐会ではサプライズゲストのくまモンが登場し、また、アジア太平洋地域の各区が趣向をこらしたパフォーマンスを行いました。2 日目は、阿蘇山や熊本城などを訪れるエクスカッションが 5 コースに分かれて行われ、晩餐会では AYC 参加者のパフォーマンス、会場全体を巻き込んでの「おてもやん踊り」などで大いに盛り上がりしました。3 日目は、国際書記長報告、日曜礼拝、AYC 報告等が行われ、「蛍の光」で別れを惜しみながら閉幕となりました。



西日本区の皆さん、特に熊本のクラブの皆さんには大会の準備、運営で大変お世話になりました。次々回のアジア太平洋地域大会または国際大会は、ぜひ東日本区で開催し(東京では 1959 年以来、国際的な大会が開催されていません)、私たちが元気を取り戻す機会、新しいメンバーを呼びこむ契機としたいと思います。私は、大会のアルバムとブリテンを担当しました。ぜひ以下をクリックしてご覧ください。

大会アルバム：<http://30d.jp/ysjapan/41>
大会ブリテン：https://is.gd/KumamotoAC_Bulletin_Japanese



当クラブからの参加者：田中、為我井 (田中記)

ぽんぽこ農園便り

連日の猛暑が気がかりで、日々の予定のあいだをぬって、8月20日過ぎに、ぽんぽこ農園の様子を見てきました。この暑さの中、佐々木さんがこまめに手をかけてくれており、農園の維持管理の面では他の耕作エリアと見比べて、明らかにメンテナンスのレベルは際立っていました。佐々木さんには心から感謝です。ぽんぽこ農園内の野菜たちは、耐え難い暑



さの中で、青息吐息の様子が見て取れました。園内の野菜たちが、生き続ける限界に直面している様を見てみると、溜息しか出てきません。

何もできず、唯々、茫然と眺めることしかできない自分に、カツを入れようにも、何の手助けもできないことにいら立つばかりでした。キュウリは早々と虫にやられ、ピーマンもナスも、よくぞここまで育ってくれたと声をかけることしかできませんでした。佐々木さんは、数日単位で、採れたてのナス、ピーマンなどを「ほくの家」や「慈有塾」に届けてくれています。ナスは、つやはあるのですが、表皮に亀裂が入っていました。今も、暑さの中でひとり頑張っているのがサツマイモです。そんなこんな苦境の中、秋の収穫に願いを込めることしかできません。佐々木さんお許しを。



(石田記)

今後の予定

9/2(火)19:00~20:30 9月例会 玉川学園コミセン
9/5(金)~7(日)ユースボランティア・リーダーズ
フォーラム 富士山 YMCA
9/9(火)19:00~20:30 9月第2例会 Zoom
(定例は第2月曜日ですが、今月は火曜日に変更しました)
9/10(水)19:00~20:30 東新部会長会 Zoom
9/11(木)19:00~20:30 東新部 Y 友広場 Zoom
9/15(月、祝) YY イベント「お茶会」深尾邸
9/20(土)東京 YMCA 災害スタディ 10:00~
東陽町センター
9/24(水)「在京12クラブ会」19:00~20:30 Zoom
9/27(土)東京 YMCA チャリティーラン 木場公園
10/7(火) 19:00~20:30 10月例会 ベルブ永山
10/8(水) 19:00~20:30 東新部会長会 Zoom
10/9(木) 19:00~20:30 東新部 Y 友広場 Zoom
10/10(金) YY イベント「金毘羅宮愛宕神社」
10/13(月、祝)19:00~20:30 10月第2例会 Zoom

YMCA ニュース

担当主事 小野 実

YMCA 運動へのご理解、ご協力に感謝いたします。
○8月1日~8月18日、東陽町コミュニティーセンターで、「長崎原爆被災写真」パネル展が開催されました。長崎の原爆資料館所有の長崎原爆被災写真

パネル原子爆弾に関する貴重な資料の展示を通して、平和といのちの尊さを考える機会となりました。
○8月8日~8月12日、「キッズワールドカップ in 韓国」がソウル YMCA タラゴンキャンプ場で開催され、東京 YMCA からは小学生2人と引率スタッフ2人が参加し、名古屋 YMCA のメンバーと一緒にチームを組みました。韓国・香港・日本の子どもたちが、サッカー試合やレクリエーション、韓国文化体験等を通して交流を深めました。

○今夏、山中湖センター、野尻キャンプ、高尾の森わくわくビレッジを中心に宿泊キャンプと日帰りキャンプを実施し、約600名が参加しました。海外キャンプ「ダイナミックサマー」は、ハワイ、ニューヨーク、ボストンの4コースに27名が参加し、無事に終了しました。

○7月21日~8月8日、東京 YMCA とパートナーシップの関係のあるソウル YMCA からインターンとして Kim Jae Seong 氏を受け入れました。期間中、東陽町センターの語学や国際プログラムを中心にボランティアスタッフとして活躍しました。

○今後の主な行事予定

・「関東大震災 第102周年記念 追悼 合同早天礼拝」

9月1日 (在日本韓国 YMCA 9階国際ホール)

奨励: 李 明生牧師

(日本福音ルーテル教会むさしの教会担任牧師/
ルーテル学院大学准教授)

・「2025 災害スタディ ~防災まち歩き」

9月20日 東陽町センター

(共催: 社会福祉法人 江東区社会福祉協議会)

・「第39回インターナショナル・チャリティーラン」

個人ウォーキング(オンライン) 9月20日~9月27日

チームウォーキング(オンライン) 9月27日~10月5日

駅伝大会(都立木場公園) 9月27日

・「J.T.スウィフト主事&ミラー主事墓前礼拝」

(横浜 YMCA 共催) 10月25日(横浜外国人墓地)

・「ソウル・台北・東京 YMCA 指導者協議会」

11月4日~6日 会場: 東京 YMCA

テーマ: 「Our Responsibility for the Future –
To Leave No One Behind」

・「国際協力一斉街頭募金」11月15日新宿駅周辺

深 悼

磯部成文氏(東京 YMCA 名誉会員)

8月5日召天 享年83

香取良和氏(学校法人東京 YMCA 学院評議員・東京
YMCA 名誉会員) 8月18日召天 享年85

編集後記 厳しい暑さが続いています。お身体ご自愛ください。当クラブメンバーは国際、区、部、クラブの活動でフル回転しています。無理は禁物。(i.i)